

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本目標	03	個性あふれる観光のまちづくり
	中項目	01	観光
小項目	施策	観光	
事務事業名	01	観光推進事業	
問	担当課(室)	観光係長 金藤 康樹	
合	職・氏名	64-1832(274)	
先	電話	このシート作成に要した時間 4.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光事業者、観光客
目的(何のために)	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、観光客の動向を調査することにより諸施策への指針として利用するため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光客数の増加

事業の実績		優先度	
目的を達成するため実施した事業	観光動態調査事業	岡山県に対し、観光客数の実地調査の報告(閑谷学校、岡山県備前陶芸美術館、日生五味の市、八塔寺ふるさと村)。	
	観光宣伝事業	観光素材のPR、広告等。今年度はカキオコB1グランプリ出展により全国的にPR。チャレンジ応援委託(3,300千円)等	
	フィルムコミッション事業	映画、ドラマ、CM等のロケ地の誘致を目的として情報提供を行う。	
	観光写真掲出負担金事業	観光客や岡山駅地下道を訪れる人々へのPR、啓発のため、岡山駅地下道に観光コルトンを掲出	
	観光パンフレット等作成事業	観光事業者や観光客に対して観光素材をPRするため観光パンフレットの作成を行う。今年度はまちづくり交付金事業として伊部地区観光情報マップ作成。(798千円)	
観光看板等整備事業	観光客に対して観光案内を目的として、観光看板の設置管理を行う。		

事業費等	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	2,554	722	4,793
決算額	必要人員	0.82人	0.55人	1.18人
	事業費計	8,782	4,576	14,625
財源	国	176	176	3,476
	受益者負担			
	繰入金			
	市債			
一般財源	その他( )			
	一般財源	8,606	4,400	11,149
受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	観光客数	人	924,807	914,744	875,917
	対前年比	%		98.9%	95.8%
	活動コスト	円	8,782,000	4,576,000	14,625,000
	単位当たりコスト	円	9	5	17

事業の成果		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
観光客数	成果指標名	年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	目標値(A)		924,807	914,744	875,917
	実績値(B)		92.48%	91.47%	87.59%
達成率(B/A)					毎年度

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	有効性の評価	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	今年度開催する「おかやまご当地グルメフェスタin備前」において、備前市のグルメ、特産品はもとより、備前焼、旧閑谷学校、日生諸島など市内観光資源を広くPRし、地域の活性化を図る。

総合評価	
観光産業は市の基幹産業であり、市の活性化のために今後も力を入れていく必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

平成25年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	今後も観光PRの推進について、各メディアの活用や広域連携、インターネットの有効活用に努める。また、「日生カキオコ」B-1出展以降さらに観光客も増えており、観光客が市全域へ足を運んでくれるよう推進する。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する

Action